



市民向けものづくり体験教室
素のものワークショップ



2018.9.22 - 23



手仕事
 あらゆる
 食の
 土

素のもの
 ワークショップ

9月に高岡市中心市街地をメイン会場として開催された「高岡クラフト市場街」に合わせて、市民向けのものづくりに親しむ体験教室「素のものワークショップ」が9月22日(土)と23日(日)両日、市デザイン・工芸センターで開催された。これは地元の工芸作家、職人が講師となり、ものづくりをテーマとしたワークショップを開催することで、作り手の発表機会、消費者との交流の場を提供するとともに、地場産業を中心としたものづくりの魅力を知ってもらおうと企画したもので、期間中はのべ五十名近くの市民が参加した。体験内容は漆、金属、木工、左官の四つのコースにわけられ、「食卓で使う道具」をテーマにした銅のフライパンや漆の小皿、土かまど、木の杓の制作を行った。

土かまどの制作では和やかな雰囲気の中、型枠に土を詰め、型から外す瞬間に歓声が上がると盛り上がりを見せていた。また、銅板で作るフライパン制作ではガスバーナーや金槌など普段はあまり使うことのない道具を前に最初は参加者も戸惑った様子だったが、徐々に扱いに慣れ真剣な表情で制作に取り組んでいた。



また、この体験教室の開催に合わせて近隣の㈱能作の社屋では、ワークショップ講師が使用している道具や素材の展示や各素材を使った作品販売も行われ、来場者は好みの作品を手にとったり、普段は見ることのできない職人道具に足を止めるなど興味深く見入っていた。